

志賀原子力発電所 2号機 廃棄物処理系配管の 弁のレバーハンドル取り付け間違いについて

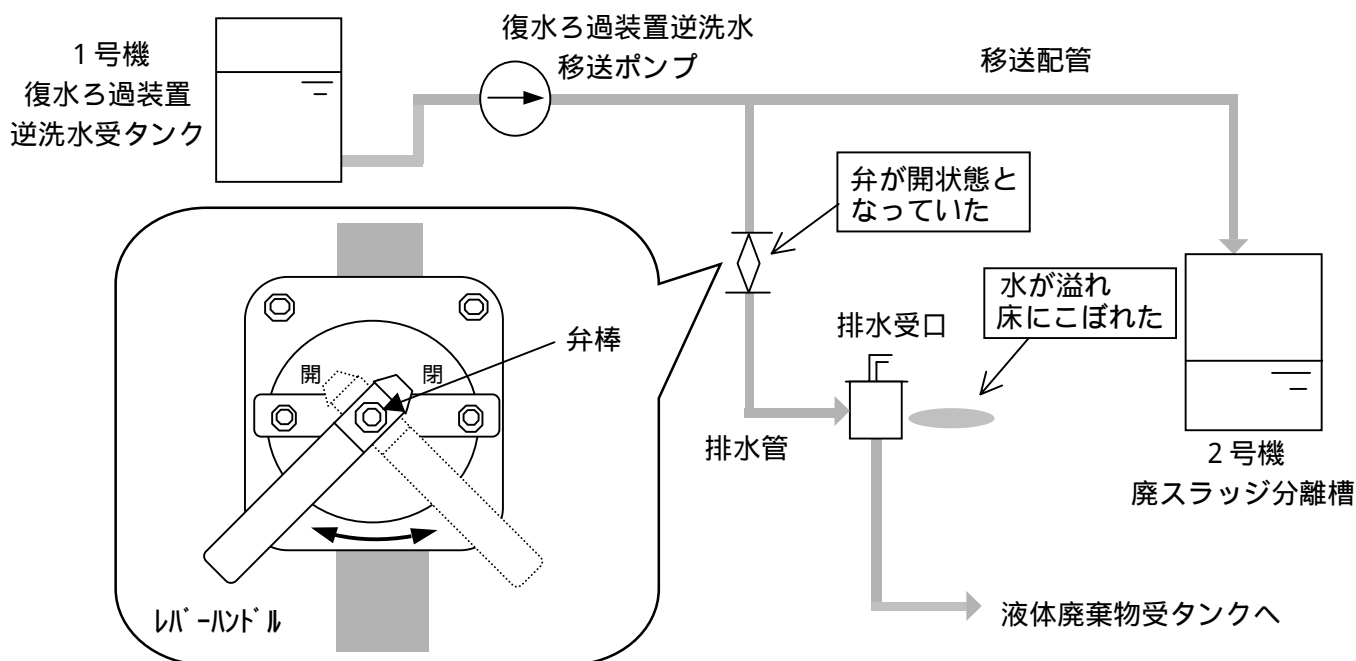
平成 17 年 4 月 16 日午前 10 時 30 分頃、廃棄物処理設備の系統試験で 1 号機復水ろ過装置逆洗水受タンク^{*1}の水を 2 号機廃スラッジ分離槽^{*2}へ移送を開始したところ、移送配管の排水管にある弁が開状態であったため、排水受口で排水管からの水の流出が確認されました。その際、排水受口から僅かに水がこぼれました。

排水管にある弁が開状態であった原因は、系統試験前に当該弁のレバーハンドルを作業のため一時的に取り外していましたが、レバーハンドルを復旧した際、取り付け方向を確実に確認せず、誤って開閉を逆に取り付けたことによるものです。

今後、レバーハンドルの取り付け位置を間違えないよう、レバーハンドルと弁棒に印をつけ、レバーハンドル取り付け時にはこの印を一致させることで、取り付け方向を間違わない対策をとることとします。

* 1 復水ろ過装置を逆洗した際に出てくるスラッジ（鉄サビ等）の廃液を貯めておくタンク。

* 2 スラッジ（鉄サビ等）を沈降させ、水と分離させるためのタンク。



系統概略図